

## 石川商店（有限会社アイトライ）

新たな販売業態の導入実績が事業承継の追い風に

店舗改装と事務所拡張で業務を効率化



### ■事業所データ

事業所名：石川商店（有限会社アイトライ）

経営者名：石川弘之さん（子）、石川弘さん（父）

住所：〒739-2304 広島県東広島市福富町上戸野 2041-1

電話：082-435-2093

営業時間：7：00～18：00

定休日：不定休

URL：<https://www.ishikawa.store/>

<http://www.i-try.co.jp/index.html>

事業内容：飲食サービス、建築資材の加工・施工、その他販売・サービス業

### ■広島県央商工会からの経営支援内容

事業承継補助金（後継者承継支援型）の申請補助および経営革新計画の策定支援、事業承継セミナーの案内といった情報提供、専門家派遣など。

### ■事業の柱は複数であるべきという共通認識

アイトライは小売業としてスタートし、刻々と変化する環境に合わせて多様な新規事業に参入を果たしてきた会社です。被承継者（父）・承継者（子）ともに「事業の柱を2本以上持つべき」と認識していました。

そこで2015年ごろから承継者が中心となり、一時閉鎖していた食料品店「石川商店（1975年開業）」を再構築。高齢者向け宅配などの事業を開始し、地域の祭事やイベントの仕出し、工場向け弁当などの受注も増えて順調に業績を改善していました。

ところが2020年に入り、新型コロナウイルスの影響により祭事・イベント料理の受注が減少。業績が悪化したことから、事業承継に伴う補助金を活用して経営革新に取り組むことを決めました。



※石川商店が提供する日替わり弁当

### ■拠点の集約と新たな販売業態導入

主な取り組みは「2か所に分かれていた拠点を1つに集約」「宅配弁当に加え店頭販売（テイクアウト）を開始」の2つです。補助金を活用し、事務所の拡張工事を実施。内外装を一新し、作業場の確保や厨房設備の増設などを行いました。

補助金申請には具体的な事業計画が欠かせません。今後やりたいことや試したいこと、やらなければならないことなどの情報を商工会と一緒に整理して、申請書作成の切り口や文章校正についてアドバイスを受けました。

さらに被承継者から承継者へと、経営権の引き継ぎに関する支援も受けました。



※老朽化が進んでいた改装前の店舗

### ■業務効率化と生産性実現、コスト削減を同時実現

工事中、事務員が入院。人手が足りない中で工事と並行し、事務所移転の事務手続きや引っ越し作業も進めなければなりません。店舗や作業場の改装工事と同時に、日常の弁当製造や宅配、仕込みなども休まず行いました。

そのかいあって、2020年末には拠点の集約を完了。業務が効率化し、人員の生産性向上やコスト削減まで同時に実現できました。店舗は主要国道（375号線）沿いに位置しているため、改装中から多くの人々の目についたようで、好評の声も多くいただいています。

承継者が商工会青年部の部長を務めていたため、商工会とは普段からコミュニケーションが取れていました。そのことが強みの表現などの部分で役立ちました。



※「石川」の文字と弁当を組み合わせた新しいロゴが目印

### ■実績がもたらす自信が承継実現の基盤に

石川弘之さん「皮肉なことに、例年は書き入れ時である10～12月にコロナ禍の影響で注文が少なく、事務所集約が何とか無事完了しました。

5年ほど前から石川商店の再構築に取り組んできた実績が自信になり、事業承継の実現に繋がったように思います。補助金の活用法に対する商工会のアドバイスは、父と承継について本格的に話し合うきっかけにもなりました。

店頭販売で実績を作り、いずれはキッチンカーを導入するなど、今後もさらなる事業拡大

を目指していきたいです」。